

「UICグローバルリサーチ&イノベーション賞」 の受賞について

平成26年12月16日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）の職員が国際鉄道連合（以下、UIC）のグローバルリサーチ&イノベーション賞（UIC Global Research & Innovation Awards 2014）を受賞しましたのでお知らせします。

UICのグローバルリサーチ&イノベーション賞の授賞式が2014年12月3日にフランス・パリで行われ、安全・セキュリティ分野で、鉄道総研の曾我部正道 鉄道力学研究部主任研究員が「連続する鉄道構造物群の地震時車両走行性の評価法」で受賞しました。

本賞は、鉄道輸送を世界レベルで促進するとともに、鉄道をより魅力的かつ経済的で持続可能とするために、UICの国際鉄道研究委員会（以下、IRRB）のイニシアチブによって2012年に創設されました。選考委員会はIRRBのメンバーで構成され、「安全・セキュリティ」、「持続的発展」、「鉄道システム・オペレーション」、「鉄道貨物」、「旅客サービス」、「コスト削減」の6分野に対して表彰されます。

授賞式は、フランス・パリのフランス自動車クラブにおいて行われ、ボリス・ラピドス IRRB議長とジェルズィ・ヴィシュネフスキーUIC 共通基礎技術部長から、受賞者の代理として出席した共同研究者の徳永宗正 鉄道総研 鉄道力学研究部 構造力学研究室 研究員に賞状と盾が送られ、後日、鉄道総研において、熊谷則道 鉄道総研理事長から曾我部正道主任研究員に伝達されました。

記

1. 開催日時: 平成26年12月3日(水) 14:00～(現地時間)
2. 場 所: フランス・パリ (フランス自動車クラブ)
3. 受賞内容: 「連続する鉄道構造物群の地震時車両走行性の評価法」
4. 受賞者: 曾我部正道 鉄道総研 鉄道力学研究部 主任研究員



写真 UICグローバルリサーチ&イノベーション賞 授賞式（於：フランス パリ）
（左端：徳永宗正 鉄道総研鉄道力学研究部研究員、右から6人目：ボリス・ラピドス IRRB議長、右から5人目：ジェルズィ・ヴィシュネフスキー氏）



写真 受賞者への賞状と盾の伝達（於：鉄道総研国立研究所）
（左：曾我部正道（受賞者） 鉄道総研鉄道力学研究部主任研究員
右：熊谷則道 鉄道総研理事長）